

令和5年 第1回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和5年1月 20日 午後1時 30分
- 2 閉会 令和5年1月 20日 午後2時 15分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、金田真也委員教育長職務代理者、太田孝雄委員
高崎佐智江委員、田中早苗委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 近藤智彦
生涯学習課長 藤井 透
スポーツ課長 鈴木雅也
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課長補佐兼係長 木村真一
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第1回定例会議事日程

日 時 令和5年1月20日（金）

午後1時30分

場 所 南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 請 願

- (1) オミクロン対応ワクチン接種促進の差し止めを求める請願について

3 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 令和5年田原市二十歳の集い出席者について
- (3) 図書館への寄附について

4 その他

開 会 午後1時30分

教育長

本日は、ご多用のところご出席くださいますありがとうございます。ありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和5年田原市教育委員会第11回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、金田委員と田中委員のご両名を指名させていただきますのでよろしくお願いたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。教育委員会報告を用意しましたのでご覧いただけたらと思います。

年末年始のお休みの期間があったものですから、いつもの月に比べると報告事項が少し少ないかと思っております。

コロナ感染者数は、まだ多い状況であります。インフルエンザも少し入ってきているということで、若干心配されているところではあるのですが、感染防止に留意した上で様々なイベントや事業が行われてきました。特に、屋外でのイベントについては、コロナ前のような形にかなり戻した形で行われているものが幾つかあったのかなと考えております。

それでは、教育長メモに従って幾つかご報告させていただきます。

12月17日にスポーツ協会設立50周年記念式典、それから、その翌日がスポーツ協会の式典にも参加していただいた小川泰弘投手をお招きして、ライオン小川野球教室が開催されました。私は急遽都合が悪くなって出席できなかったのですが、どちらの会も盛況でよい会であったというように伺っております。

それから、12月28日、田原市消防団年末夜警巡視がございました。先ほど、コロナ前のような形に戻して行われたものが多かったということをお知らせしたのですが、この消防団の年末夜警であったり、あるいは1月7日の消防出初式、それから1月15日に芦ヶ池ぐるっとマラソン大会があったのですが、それぞれにコロナ前のような形で通常の形に戻して、これらのイベントは行われました。

ぐるっとマラソンについては、コロナになってから初めての開催ということで、若干参加者は以前よりも少なかったのですが、元気いっぱい小学校の低学年から大人の方まで参加していただいて、いい会になったなというように思っております。

少し上の方に戻ります。

1月8日、田原市二十歳の集いが開催され、2か所での分散開催で

ありましたので、私は渥美文化ホールの方へ参加させていただきました。成人年齢が引き下げられたということで、今年から名称を変更しての開催ということでございました。私が参加しました渥美会場は、とてもマナーよく成人たちが参加していたかなというように思います。かつての元気のよかった成人式のことを少し思い浮かべると、随分今の子たちは大人になったなど、マナーよくこういったことにもきちんとできるようになったなどということで感心をいたしました。

それから1月13日、愛知県都市教育長協議会の総会と研修会が名古屋市で開かれ参加してまいりました。

研修会では、県の飯田教育長の講話お聞きする機会がありまして、特に今力を入れていることとして、県立高校の大改革といひましようか、今までにない大きな改革に取り組んでみえるということで、いろいろお話を伺いました。中高の一貫校を県立学校へ設置していくということが以前から流れていますのでご承知だと思いますが、そのことであつたり、あるいは不登校対応の学校も幾つか設置していく、それから定時制や通信制の県立高校についても、大幅に増やして改革をしていくというような、今までにない戦後一番ぐらひの大きな改革ではないかなと私も捉えております。飯田教育長のお話を伺いながら私も強く感じたのが、いろいろな子どもさんがみえる、全ての子どもさんの方へ目を向けて、どんなニーズにも対応できるように公立高校が変革をしようとしていると、その辺のことがとても強く感じました。

私たちの地元の公立高校も、今後またどうなっていくのか、これからまた変わっていくことがおそらくあるであろうと思うのですが、県立高校もかなり本腰を入れてというのでしょうか、本当に必要に迫られて大きな改革に取り組んでみえるということがよく分かりました。

1月14日、田原市の小中学校PTA連絡協議会の研究発表会と教育講演会がありましたので参加してまいりました。研究発表については、若戸小学校のPTAの発表がございまして、前々から若戸小の取組は私もよく知っていたのですが、地域のよさや、つながりを大切に活動をずっとやってみえて、それをまとめた形で発表されていたのですが、ふるさと教育にPTAや、地域が一体となって取り組んでいるという、そのよい事例だなというように私は捉えながら聞いておりました。

それから講演の方は、南極観測隊の調理員でありました渡貫淳子さんという方のお話を伺ったのですが、これもとてもよいお話で、興味深く聞かせていただきました。普通の調理師であつたり、主婦であつた方が、願いや努力があれば人生を大きく変えていくと、そのようなご自身の体験をお話ししていただいて、すごく心に響くお話でありました。この方が大切にされている言葉として、ノーの理由よりイエス

の可能性をという、その言葉をいつも大事にされているということで、まさにこの方自身が南極観測隊員に応募して人生を切り開いてきたという、その姿に重なって非常に感銘を受けるものでございました。

以上、簡単ですが私からの報告とさせていただきます。

何か今の報告について、ご質問等がありましたら受けたいと思いませんがいかがでしょうか。

ご質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

ではこれより請願の審議に入ります。

「オミクロン対応ワクチン接種促進の差し止めを求める請願」についての審議を行います。

事務局の説明をお願いします。

教育総務課長

それでは、教育委員会報告、次の資料でございます。よろしく願いましたと思います。

オミクロン対応ワクチン接種促進の差し止めを求める請願についてということで、教育委員会会議規則第7条に基づいて回答案を作成しました。これについての同意を今回お願いするものです。

では、そのページをもう1枚めくっていただくと、令和4年12月12日付で、以下の者から教育長宛てに請願が出されております。タイトルにもありますオミクロン対応ワクチンの接種促進の差し止めを求める請願ということで、前段部に理由等が書いてございますけど、要点はその次のページに行きまして、中段ほどで上記の理由により以下の1番、2番、この点について請願が出されたというようになります。

一つ目として、今後、医学的知見を持たない教育委員会がコロナワクチン接種の促進推奨を行わないことということと、2点目、新型コロナワクチン接種後死亡者数、重篤副反応数事例を接種券に同封、周知することという2点でございます。

では、最初の紙に戻っていただいて、回答案でございます。

宛名につきましては、先ほどの通知者の日本次世代を守る会代表の佐藤さんと有志田原市の会代表の小林さんでございます。

請願に対する回答について通知（案）ということで、令和4年12月12日付をもって提出された請願、オミクロン対応ワクチン接種促進の差し止めを求める請願について下記のとおり回答しますということです。先ほどの1点目につきましては、回答案としまして新型コロナワクチンの接種については、政府が医学的知見により発出した新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に基づき、接種を希望する対象者に対しては、接種に関する情報提供を行っていくように周知しましたが、あくまでも全てのワクチンの接種は強制ではなく、児童生徒については本人や保護者の判断が尊重されるべきものとしており、接

	種の促進、推奨は行っておりません、ということでございます。
	2点目、新型コロナワクチン接種後死者数、重篤副反応数事例を接種券に同封・周知すること、この件につきましては、新型コロナワクチンの接種券発送は、田原市教育委員会がその権限として所管する業務ではありません。教育委員会がこのことを行っているものではございませんので、回答はこういった形にさせていただいております。
	以上、このような形で請願に対する回答をしたいと思いますが、ご協議をお願いしたいと思います。
教育長	事務局の説明が終わりました。
	御質問等がございますでしょうか。
太田委員	この請願については、これらの方々から教育委員会へ請願があって、これは議会とか、他の市役所の部局へはこのような請願というのは行ってないですか。
教育総務課長	同様のものが市に行ったり、あるいは議会に出されたり、そういったことはあります。今回の件については承知をしておりません。
太田委員	今回、令和4年11月に文部科学省がこのような通達を出したことを受けて教育委員会へという、そういう流れというか、意図でしょうか。
教育総務課長	事実確認をすると、通達というものはないものですから、実際には通知ですね、それが回答案にもありますように、政府が発出したということで、もとは文部科学省ではなくて、政府が出した対処方針ということでございます。
太田委員	請願するところが教育委員会でいいのかなというような、この特に2番のあたりで、こういった接種券に同封するというのは、教育委員会がやることではないので、ちょっと部局が違っているかなという。
教育総務課長	そうですね。
	権限的には、ここで答えられるものではございませんということではあります。
教育長	国から来た通知が学校を通して子どもたちに推奨するような感じに受け取れるような、そういう通知であったものですから、それで教育委員会へこのような形で来たのかなというように捉えています。
	そのほかご質問ございますでしょうか。
教育総務課長	さっき私、少し曖昧に言ってしまいましたけど、政府が組織した新型コロナウイルス感染症対策本部というところから発出されたものがそもそもの元で、それが文部科学省に限らず各省庁に出されているというようには理解しております。
	政府の新型コロナウイルス感染症対策本部というところですね。そこから実際には、国全体の対処方針が出されているということでございます。
教育長	今、課長が説明したのが厚生労働省の参事官室からと、文部科学省

田中委員

初等・中等教育局健康教育食育課というところからも発出されていますが、教育委員会へ発出されたのは、文部科学省発で来ております。大元は、先ほどの対策室だと思うのですが、実際にそれを受けて各省庁の関係機関におそらく出したのかなと、学校関係で言うと、文部科学省を通じて出された形であると思います。

教育長

お昼に、速報で5類移行へというニュースがあったので、対策本部の対応も変わりますよね。

おそらくいろいろな対応が私たちの教育委員会の管轄のところでも少し変わっていくかなということは思います。

この件に対して、その他ご質問よろしかったでしょうか。

それではお諮りいたします。

オミクロン対応ワクチン接種促進の差し止めを求める請願について、原案どおり請願者に対して回答することにご異議ございませんか。

教育委員

異議なし。

教育長

では、異議なしということで原案通り回答することに決定しました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。

それでは、教育委員の皆様方の連絡・報告事項を順次お願いいたします。金田委員からお願いいたします。

金田委員

1月8日に田原市の二十歳の集いに参加させていただきました。

自分は、総合体育館田原会場の方に参加させていただきました。一番下の息子、4人目の息子が今年二十歳を迎えるということで、一緒に出席させていただいてとても記念になる一日でした。

式は本当に、記憶した中でも一番静かで、厳粛な式典だったなどそのように思いました。あと、記念写真も一緒に撮ったのですが、息子たちの同級生だったということで見ると、中学生のときから比べると大分大人になったなあというそんな感じだったし、女の子に限っては、本当に見違えるほど、分からないぐらいな感じでとてもうれしかったです。

教育長もおっしゃったように、成人が18歳に引き下げられたということですけど、こうやって二十歳の集いということで、改めて高校を卒業して就職したりだとか、大学に行って全国に散らばった子がこの機会に集まって、そして仲間のよさ、ふるさとのよさを改めて知るとてもいい機会じゃないのかなというように感じさせていただきました。とてもいい式典だったと自分はそのように思いました。

自分からは以上です。

教育長

続きまして、太田委員お願いします。

太田委員

私も二十歳の集い、渥美会場の方へ参加させていただきました。天

気もよくて、とても華やかで若々しい雰囲気の良い日だったというように思います。

荒れる成人式というのが話題になっていますけれども、格好は結構元気な格好の子もいましたけれども、自分の名前を書いたのぼりを会場に持ち込んだ子も係りの人が没収というか、取ってもなんら反抗的な態度でもなく、穏やかなそういう場面もありました。

私が感心したのは、各中学校の代表の子が司会や、それから二十歳の誓いだとか、それから記念品の受け取りだとか、そういうことをやるのですが、それぞれ皆さん、とても立派でたくましい感じがしました。

二十歳の誓いは、前教育委員の天野委員さんの娘さんがやられたということで、翌日にお電話をいただいて、やっぱり天野さんのところのお子さんでしたかというような、そういう会話もしましたけれども、大人への心構えや、それから周りへの感謝や、そういった誓いの言葉の中にあっただのはとてもよかったなと思います。20分余りのとてもコンパクトな式でしたけれども、主催の側それから特に参加する側の方々の思いが出たとてもいい式だったと思います。

それから1月14日に市P連の研究発表、教育講演会へ参加させていただきました。

研究発表、若戸小学校で私も25年ぐらい前に2年間在籍して、そのときもちょうどこの市P連の研究発表が当たったものですから、そのことを振り返りながら、自分が2年間務めた頃のことを思い出しながら、とても感慨深く聞かせていただきました。ちょうど、若戸小学校の校長先生がお隣にみえたものですから、休憩時間の間にその辺の話もお聞きして、校長先生だとかそれから校区会長さんだとか、そういった方々がとてもリーダーシップを取って、地域と学校と家庭が一体となったいい研究発表ができたんじゃないかなと思います。

私が二十何年前に発表したときは、若戸小学校というと、ほとんどPTAの役員さんは男性の方だったのですが、半分ぐらい女性の方がいましたし、多くの方が役員さんほぼ全員ぐらいが発表をして、その発表の中でそれぞれの方々がこの研究実践で感じた感想だとか意見をちよつとずつコメントで入れたことが形式的な発表ではなくて、自分たちらしい発表に取り組んだというようなそういう思いが出た、いい発表だったというように思います。

それから、教育講演会、南極で調理員で働く渡貫さんのお話ですが、ちょうど私も2か月ぐらい前に文化協会の研修視察の帰りのバスの中で、この中で紹介がありました堺雅人さんの南極料理人というあのDVDを観たものですから、映像としていろいろ南極の場面のことが紹介されましたけれども、映画を観たということで、とても渡貫さんのお話が映像として残って、いろいろな場面をお話いただいたの

教育長

高崎委員

ですけど、とても入りやすかったなと思います。

教育長から先ほどお話がありましたけど、やっぱりメッセージというのは、中学校のときの恩師の先生のノーの理由よりイエスの可能性をというあの辺りが、渡貫さんが自分が南極へ料理人として行ったことに対して、核とした講演の中のメッセージだったのではないかと思います。中高生ぐらいにあの話を聞かせたいなという、そういう思いを持ったいい講演会だったというように思います。

以上です。

ありがとうございました。

続いて、高崎委員お願いいたします。

私は、3件出席をさせていただきました。

一つ目、12月20日、子育て支援会議に出席をさせていただきました。学童という放課後の児童さんのお預かりについての会議でした。

私が感じましたのは、あらゆる工夫をして田原市のお子さん、働くお母さま方のために、お父さま方のために、市としてあらゆる可能性を模索して、そして皆さんの子育てに協力をされているなということをととても感じさせていただく会議でした。詳細については、年度の初めにしかるべき部署から発表があると思います。

そして、二つ目ですね。田原市総合計画審議会に参加させていただきました。こちらは、各団体の代表の方がお集まりになっていらっしゃいまして、司会進行を愛知大学地域政策学部の教授、戸田先生という方がしてくださいました。また、顧問として途中から県議会議員の山本浩史さんが同席をされ、司会進行のお手伝いをされていらっしゃいました。

まず、初回ということで自己紹介があったのですが、自己紹介の中で私がありがたいなと思ったのは、私ごとになるのですが、自己紹介をした後、1分でお願いますということを言われたのです。あ、長すぎたのかなと反省をしましたらちょうどいい時間ですと言われたのです。ですので、この会議でお話をさせていただくことで私のそうしたスキルもアップさせていただいたのかなと思って、お礼をまず申し上げます。

次に、私は教育委員会ということで出席をさせていただきましたので、自己紹介の折に先ほど教育長さんのおっしゃった東三河に中高一貫の公立高校ができる話を少しさせていただきました。地元のお子さんを田原市で、田原市のお子さんを育てるということを大切にして、先生方が大切にしていらっしゃって頑張っているということをお伝えしまして、次に、中高一貫ということは12歳、小学校を卒業した時点でお隣の時習館高校ということが中高一貫高校であるということを発表されたものですから、もし受検をされる方がいらっしゃるとしたら、時習館高校に行かれるということになられるのかなと思

いましたので、お子さんというのは、私の見解でありますけれども伸びる時期があったり、それからいろいろなお子さんが個性があると思っております。ですが、夢のあるお子さん方をこの田原のよい環境の中で育てさせていただくことを見守らせていただくのか、それとも優秀という言い方は語弊があるかもしれませんが、日本の未来を考えて、早い段階で中学からお隣に出されるのか、そうした海陽学園というところも何年か前にできましたので、いろいろな考え方がこれから出てくると思いますし、先生方の文部科学省のカリキュラムがあり、お母さま方も一部のお母さまではいらっしゃるかもしれませんが、いろいろな考えも出てくると思います。ですが、私の個人の見解としては、地元のお子さんは地元で豊かな、田原の将来につながるようなお子さんに育てほしいなということを少し短めにお話しをさせていただきました。

次に、1月8日、二十歳の集い、これは家庭の都合ですみません、四十九日と重なりまして、欠席をさせていただきました。

最後になります。1月14日、小中学校PTA連絡協議会研究発表に参加をさせていただきました。若戸小学校は、前々回、学校訪問にお邪魔させていただき、私個人としてはとても感動しておりました。自然に恵まれ、生きた教育をされていらっしゃるというのが私の実感でした。

そして、帰り際に校長先生、管理職の先生方がたまたまPTAの方とお話しをされているところを通りがかり、ご一緒させていただいたのですけれども、地域を挙げて先ほど太田先生もおっしゃった地域、学校、PTAの息の合った、このエネルギーがこうしたすばらしい結果を生んだんだなということを思いました。そして、これは本当にオンライン教育が始まって、すごく可能性のある学校なんだろうなということを感じさせていただいております。

次に、南極の料理人の方のお話を伺いました。

この方、私、少し料理に興味があったものですから、いろいろ以前調べていたのですが、エコール辻というすばらしい調理師学校を出ていらっしゃるしまして、大体ここの学校を出られた方は、行かれる方向がちょっと違うのですけれども、あえてここにチャレンジをして、お子さんがいらっしゃるのにここにチャレンジをされたという、3回もチャレンジをして、3回目に実現されたというすばらしい方でいらっしゃいました。先ほどの、ノーの理由よりもイエスの可能性をとということで、志を持ってさえいれば、幾つになっても夢はかなうんだよ。そして最後に皆さんのコメントの中で、とにかく好きなことを見つけよう、夢を持ちましょうと。皆さん未来に向かっての発信がたくさんありました。こうしたことを私が思いましたのは、特に若い先生方に見ていただいて、若い先生方がこうした夢のある教育をお子さん方に

教育長

田中委員

していただけたら大変うれしく思いました。

最後に、しなびそうなキャベツがありました。こうしたキャベツを大事に南極では皆さん召し上がっていたんだなど、私、このぐらいキャベツがこうなってしまうと、ああ、私はちょっと失礼なことをしていたなど反省しております。料理の腕を上げて、これからも精進してまいります。

以上です。ありがとうございました。

ありがとうございました。

最後に田中委員お願いします。

1月8日に、二十歳の集いに参加してきました。とても晴れ晴れとした良い日に、色とりどりの晴れ着をまとった新成人たちをながめて、3年後の長男の二十歳の集いを想像して、少しうるっと来てしまいました。少々派手な方もいましたけれども、緞帳が上がる頃には、のぼりは撤去されていまして、教育長はご覧になっていないと思うのですが、期待を裏切らない感じでくすっとしてしまいました。

式典は、とてもコンパクトで、感染対策もきちんとされていましたけど、座席が隣を空けることなく座りましたので、コロナ前の感じを味わえてうれしくなりました。自分の二十歳のときをぼんやりと思いつけましたが、当時の自分の気持ちあまり思い出せず、両親はいろいろしてくれたのにと、少し親不孝だったなと思いました。改めて、主役は子どもたちですが、保護者にとってはとても大切な式典だと思いますので、関係された皆さんに保護者代表でお礼を言いたいです。ありがとうございました。

続きまして、14日に田原文化ホールでの市P連研究発表と教育講演会に出席してきました。

若戸小学校が全校生徒83名ということで、私の住む校区の清田小学校と同じような規模ですので親近感が沸きました。

P T Aの皆さんがとても熱いと感じて、自分がP T A役員だったときに、少しめんどくさいなと思ってしまったこともありましたので、この熱意をぜひ次年度にもつなげていただきたいなと思いました。P T Aの皆さんやコミュニティの皆さんの子どもの希望をかなえたいという熱意をひしひしと感じ、P T A役員を選出するときは少々あると思うのですが、多分若戸の方はスムーズに引き継ぎができるのかなと思いました。

教育講演会では、悪魔のおにぎりの生みの親の渡貫淳子さんでしたけど、おにぎりについて聞けるのかなと期待していましたが、南極についていろいろと教えていただきました。中でも私、白夜というものを理解しているようで全然理解していなかったなという、映像を見せていただいて自分が小中学生のときにこの映像を見たかったなと思いました。私も繰り返してしまいますけど、渡貫さんの座右の銘、ノ

教育長

生涯学習課長

一の理由よりイエスの可能性、私自身も迷ったらやってみようという姿勢ですので、そういう思いからこの教育委員を引き受けたこともあります。隊員の皆さんが同世代ということがとても親近感があり、自分もそして、息子たちや周囲の方々が夢を持っていたときに、応援できるような人間でありたいなと思いました。

以上です。

ありがとうございました。

次に、報告事項（２）令和５年田原市二十歳の集いの出席者について、事務局から報告をお願いします。

生涯学習課長の藤井でございます。

それでは、報告事項（２）令和５年度の二十歳の集いの出席者について報告させていただきます。資料は裏にきれいな写真が載っているものです。

委員の皆さんには、二十歳の集いにご臨席いただきまして、晴れ着を着た若者の522人の門出を祝うことができました。本当にありがとうございました。

それでは、出席者一覧表をご覧ください。

先ほどから何回も説明しておりますけど、成人年齢が18歳に引き下げられたということで、令和５年度の成人の日につきましては、二十歳の集いに名称を改めて開催しています。対象は、これまでどおり20歳です。

それから、新型コロナウイルス感染症の観点から昨年と同様、対象者と少人数の来賓により、時間を短くして開催しております。今年につきましては、市の総合体育館とそれから渥美文化会館の２会場一部制として実施し、出身中学校ごとに実施しております。田原会場につきましては、田原中と東部中で312人、それから渥美会場は、赤羽根中と福江中と旧伊良湖岬中と泉中で210人でございます。

参加者につきましては、一番下水色のラインの欄でございまして、全員で522人、内訳は男性262人、女性260人で、一番右側の欄の77.68が対象者から見た参加者の出席率でございます。昨年の実績が一番下にありますが、昨年と比べますと出席率はほぼ同じ、出席者数も昨年とそんなに変わらないということでございます。

参観者につきましては、両方合わせて363人、出席者に対して7割弱の方が観覧者として出席されたということでございます。

報告は以上でございます。

教育長

ただいま事務局の説明がありました。令和５年田原市二十歳の集いの出席者について、ご質問等ございますでしょうか。

太田委員

清田校区の男が113.33%になっていますけど、これはどういうことでしょうか。

生涯学習課長

例えば、住民票がある人が一応基準になっていますが、それ以外で

太田委員
生涯学習課長

市外に出ていた、大学に行っている子たちがそこに行きたいということになると100%を超えるということになります。

そういう希望者があったということですか。

そういうことです。

他にも、外国人の方がいらっしゃるとか、いろいろな理由があるかと思えますけど、外に出ていた人が自分の校区に来た、住民票がない人が来た場合などがあります。

教育長

その他ご質問がございましたらお願いします。

ご質問もないようですので、次に報告事項（3）図書館への寄附について、事務局から報告をお願いします。

図書館長

失礼します。図書館です。

横長の表が載っている資料をご覧ください。

令和4年度教育関係寄附一覧というものになっていまして、下の白色の8番、9番のところが今回ご寄附をいただいた部分になります。令和4年12月21日に株式会社田原観光情報サービスセンター様より、子どもの読書環境充実のためとして、児童書60冊、9万9,335円、同じく渥美半島産直部会様より、児童書35冊4万9,948円を寄附していただきました。二つ合わせて15万円以内でということだったので、めいっぱい買わせていただいたという感じです。

1枚めくってください。12月21日に中央図書館でささやかな贈呈式を行いまして、おはなし会の後にブックトラック、台に乗っている児童書をいただいたものをお披露目させていただきまして、おはなし会に参加していただいた親子の方にお渡しいただくという形で贈呈式を開催いたしました。

以上です。

教育長

ただいま事務局の説明がありました。ご質問などございますでしょうか。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

その他事務局から何かありますでしょうか。

教育総務課長

一番最後の資料、教育委員会出席日程（案）についてということで、向こう2か月の予定をまとめてございます。

今日20日、第1回目の定例会を開催しております。

次に、今月末は少し日程が混み合います。来週の26日木曜日は、教育委員代表者会議と、当初東三河管内の研修会について皆さんに案内しておりましたが、人数制限が急遽できまして、申し訳ないですが、こちらについては教育長と職務代理の金田委員さんでお願いしたいと思っております。

次に、その次の日、27日に田原市と友好都市のプリンストンの20周年記念給食「アメリカンデイ～インディアナ州編～」ということですので。記念給食を給食センターで食べていただこうと思っております。

事前に皆さんご出席いただけるということで、12時から試食会が行われます。

また、11時半から給食センターの見学ができます。強制はいたしませんので、もしお時間がある方は11時半ごろから来ていただいて、センターの見学ができます。ただし、給食は既に出てしまっていないかもしれませんが、おかずを作っている姿は見られないかもしれませんが、設備の見学はできますので、もしセンターの見学をしたいという方がお見えになりましたら11時半までに給食センターにお願いしたいと思います。試食会については、12時から行いますので、こちらに間に合うようにお願いしたいと思います。

翌月、2月は17日に第2回の定例会を予定しております。時間は今日と一緒ですが、場所が6階の600会議室というところで、すごく景色がいいところですが、そちらで行いますので、場所の方をお間違えにならないようにお願いしたいと思います。

次に、3月に入り、中学校、小学校の卒業式がございます。また、これについては、詳しく追ってご案内をさせていただきます。

そして、年度末も行事が多くございます。3月27日は、田原市教育委員会表彰が午前中10時から予定をしております。その後、昼食後1時から、第3回の定例会を予定しております。一日、少し長くなってしまいかもしれませんが、お願いしたいと思います。

そして、31日金曜日には、第1回の臨時会がございます。臨時会を開いた後、教職員の退職辞令交付式を合わせて行いますので多分、午前中いっぱいにかかるかと思っております。

これにはございませんけど、この後4月の3日に教育委員の連絡会を10時ぐらいから辞令交付式等を予定してございますので、この資料にはありませんけど、3日の10時ぐらいから例年のとおり辞令交付式を行いますので、またご出席のご予定をお願いしたいと思います。

その他、裏面につきましては、明日、渥美半島駅伝が開催されます。教育委員会の関連行事が記載してございますので、またお時間がありましたらご参加いただけるようお願いしたいと思います。

日程については以上で説明とさせていただきます。

ただいまの日程説明について、何かご質問はございますでしょうか。

そのほか、事務局から何かありましたらお願いします。

特にないようですので、委員の皆さんから何かございましたらお願いします。

ないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第1回定例会を閉会とさせていただきます。

教育長

閉 会 午後 2 時 15 分

教育長

委員

委員